

事業所における自己評価結果（公表）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの年齢が上がるにつれ、部屋が手狭に感じてくるので、相談室など使える場所を広くしていけるとよいと思う。</li> <li>・基準を満たしているが、活動には手狭である。</li> <li>・少し手狭に感じる事がある。</li> </ul>
	② 職員の配置数は適切であるか	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準は適切であっても、状況によって足りなく感じてしまうことがある。</li> <li>・配置は適切であるが、病欠者等の補充が不十分である。</li> <li>・日によることが大きい。</li> </ul>
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■	■ ■ ■	
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りのミーティングで出たことを、改善に向けて検討している。</li> <li>・非常勤職員の参画が、今一つである。</li> </ul>
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への助言や、地域参加に関し、今一つとの指摘を受けているが、十分改善されていない。</li> <li>・わからない。</li> </ul>
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開している。</li> </ul>
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価を受審し、結果を業務改善につなげている。</li> <li>・救命講習や嘔吐物処理など、実践的なリスク対応への学びの機会、人材確保とその定着化に向けたさらなる取り組みについて指摘を受けているが、対応は不十分である。</li> </ul>
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施されているが、不十分である。業務にうまく反映できていない。</li> </ul>

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		・保護者とは、ていねいなやり取りをし、アセスメントにいかしているが、子どもへの意思形成、意思表示への支援が不十分なまま作成されている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	■ ■ ■ ■	■ ■		・職員の知識、経験による。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	■ ■ ■ ■	■ ■	■ ■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都度、職員が個人で考えてみんなの活動をしています。</li> <li>・今年度は夏まつりなど全体でやるイベントもあり、そこは良かったです。</li> <li>・個々の職員の意向によるところが大きい。</li> <li>・全体としてのプログラムの作成提示が不十分である。</li> <li>・個々に任せてしまうこともあるが、行事（夏まつりなど）は案から検討につなげている。</li> <li>・担当制で行っている為、チームで検討する事は少ない。</li> </ul>
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			・みのりタイム、つばさタイムの時間に運動や工作、リトミックなど幅広い活動に取り組んでおります。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		一人ひとりの子どもに即した個別活動などは、不十分である。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日利用する子どもの留意点などを全職員で共有し、支援に活かしている。</li> <li>・必ず実施している。</li> </ul>

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず実施している。</li> <li>・直接支援に関わった職員から、他職員に実施内容、考慮事項など毎回共有を行っている。</li> <li>・それぞれのスタッフの専門性を活かした意見交換が行われ、次の支援に活かしていくような体制が整っています。</li> </ul>
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のスタッフが記録をとることで、全体的な見落としが起こらないよう配慮している。</li> <li>・必ず記録しているが、共有、活用は不十分である。</li> <li>・記録の方法に関しても、改良が必要である。</li> </ul>
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングは実施しているが、計画の見直しへの反映等は不十分である。</li> <li>・かかわってないので分からない。</li> </ul>
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■		ガイドラインが普及できていないような気がします。
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	■ ■ ■ ■	■ ■ ■	■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者なし。</li> <li>・複雑な医療ケアの必要な子どもは受け入れていない。</li> </ul>
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	■ ■ ■ ■	■ ■ ■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> </ul>

	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	■ ■	■ ■ ■		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・これからの課題。</li> <li>・該当児童無し。</li> </ul>
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	■ ■ ■	■ ■ ■	■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を活用している。</li> <li>・わからない。</li> </ul>
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	■	■ ■ ■	■ ■ ■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施できておらず、課題として残っている</li> <li>・わからない。</li> </ul>
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	■ ■ ■	■ ■ ■		法人の代表理事が、地域自立支援協議会の相談支援部会の委員をしている。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	■ ■ ■	■		連絡帳や送迎時のコミュニケーションを大切にしているが、不十分な点もある。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・職員の力量の底上げが必要と思われる。</li> <li>・保護者への積極的支援はできていない。</li> </ul>
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	■ ■ ■			
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	■ ■ ■	■		保護者側から発信があった場合は対応しているが、十分な支援とはいえない。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施できていない。</li> <li>・わからない。</li> </ul>

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		・子どもや保護者への周知は不十分である。 ・わからない。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	■ ■ ■ ■	■ ■	■ ■	・ブログや配布物で、周知しているが、子どもへの発信が不十分である。 ・わからない。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			常に注意しているが、ボランティアや、見学者が在室しているときの対応が不十分である。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			絵カードや文字表記を活用するなど、工夫しているが、個々の特性に応じた対応などが、まだ不十分である。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	■ ■ ■	■	■ ■ ■ ■	実施できていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		マニュアルは整備されているが、周知徹底には、課題が残る。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	■ ■ ■ ■ ■	■		訓練は実施しているが、定期的実施に至らない。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		研修機会は設けられているが、共有に課題が残る。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		放課後デイサービス計画の内容に関し、職員と共有する機会が不十分である。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		保護者を介してではあるが、別内容のおやつ提供など、配慮している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■		共有はしているが、事故報告、ヒヤリハットの切り分けが不十分で、本来上がるはずのヒヤリハット案件の共有が、不十分である。